

科目名	DTM 入門 C, E	形態	演習	開講期	春・秋
担当教員	松波 匠太郎	単位	2	年次	1

＝授業科目の目標＝

五線による作曲を楽譜浄書ソフト Sibelius を用いて、打ち込みによる作曲を音楽制作ソフト Cubase を用いて実習する。自らの作曲スタイルを決定するための契機として、これらソフトウェアの基本操作を習得する。

＝履修の条件と学習の方法＝

自前の PC の持参を認める。履修者数によっては、Finale、Logic pro 等を扱う場合もある。

＝授業内容＝

1. ガイダンス、使用ソフトウェア概観
2. Sibelius 導入、音符の入力
3. 発想記号とアーティキュレーション
4. 歌詞、テキストの入力
5. 体裁とパート譜作成
6. オーディオファイルの作成
7. 応用と総括
8. Cubase 導入
9. 周辺機器の確認と、基本操作
10. ソフトウェア音源による創作 1
11. ソフトウェア音源による創作 2
12. オーディオファイルの編集
13. 他のソフトウェアとの連携
14. プログラミング言語について (Pure Data)
15. 応用と総括

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況と、各ソフトウェアを用いた課題提出による評価。

＝テキスト（必携）＝

特になし。